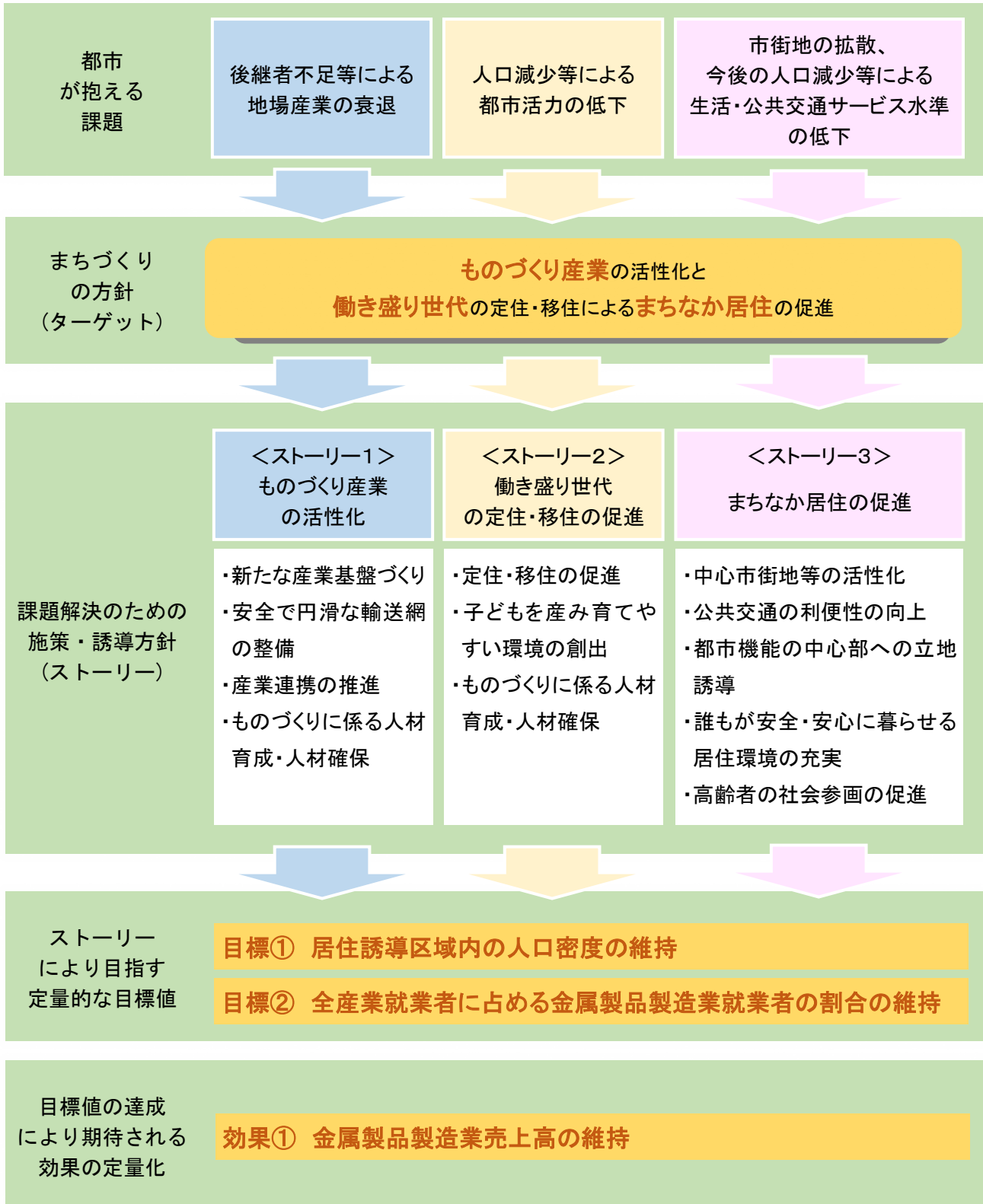


第5章 定量的な目標値の設定

1. 目標指標の設定

まちづくりの方針（ターゲット）や課題解決のための施策・誘導方針（ストーリー）により目指す目標や、その達成により期待される効果を定量的に評価する指標を次のように設定します。



2. 従前値・目標値の設定

目標①	設定の考え方	従前値	目標値
居住誘導区域内の人口密度の維持	・今後の人口減少下においても、コンパクトなまちづくりの推進により、現在の生活サービス機能が維持された持続可能な都市としていくため、生産年齢人口をはじめとする居住の誘導により、居住誘導区域内の人口密度を維持します。	36.9 人/ha (2010(H22)年)	36.9 人/ha (2040年)

【従前値の算出根拠】

- ・居住誘導区域内人口 (31,866 人) ÷ 居住誘導区域面積 (863.2ha)
- ・居住誘導区域内人口：居住誘導区域に含まれる 500mメッシュ別人口 (2010 年国勢調査) より集計
500mメッシュが居住誘導区域界で分断される場合は、市街地の状況により按分

目標②	設定の考え方	従前値	目標値
全産業就業者に占める金属製品製造業就業者の割合の維持	・後継者不足等による地場産業の衰退を抑制し、都市の活力を維持するため、生産年齢人口の定住促進や、就業者・就業を志す人材の育成等により、市の産業を支えるものづくり (金属製品製造業) 就業者の全産業就業者に占める割合を維持します。	17.2% (2014(H26)年)	17.2% (2040年)

【従前値の算出根拠】

- ・金属製品製造業就業者 (7,903 人) ÷ 全産業就業者数 (46,007 人)
- ・経済センサス_基礎調査 (2014 年) の「第 8 表 産業 (小分類)、従業者規模 (8 区分)、経営組織 (5 区分) 別全事業所数、男女別従業者数及び常用雇用者数—都道府県、市区町村」より設定

効果①	設定の考え方	従前値	目標値
金属製品製造業売上高の維持	・目標①「居住誘導区域内の人口密度の維持」や、目標②「全産業就業者に占める金属製品製造業就業者の割合の維持」により、人口減少下においても安定した生産体制を確保するほか、多様な産業振興策等を推進することで、地域の活力を支える金属製品製造業売上高を維持します。	858 億円 (2014(H26)年)	858 億円 (2040年)

【従前値の算出根拠】

- ・工業統計調査 (2014 年) の「2. 市区町村別、産業中分類別統計表—金属製品製造業の製造品出荷額等」より設定